

モバイルアプリケーションプログラミング(成績評価基準)

評価・ガイダンス	Cレベル(1pts) (改善が必要)	Bレベル(2pts) (もう少し努力が必要)	Aレベル(3pts) (目標達成)	Sレベル(4pts) (すばらしい)	評価の割合 (%)
(1)プログラミングの基本要素 (HTML、CSS、JavaScriptの仕組みと使い方がわかる。)	専門用語を知っている。	サンプルプログラムを正常に実行することができる。	課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。	設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。	10
(2)プログラミングの機能連携 (JavaScriptを使って処理を組み込み、アプリの機能を作成できる。)	専門用語を知っている。	サンプルプログラムを正常に実行することができる。	課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。	設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。	20
(3)ユーザーインターフェースとの連携(見やすいデザイン、使いやすいデザインを設計できる。)	専門用語を知っている。	サンプルプログラムを正常に実行することができる。	課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。	設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。	30
(4)搭載センサとの連携(GPS、加速度、ジャイロ、カメラなどのセンサの仕組みを理解し、プログラムを作成できる。)	専門用語を知っている。	サンプルプログラムを正常に実行することができる。	課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。	設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。	40